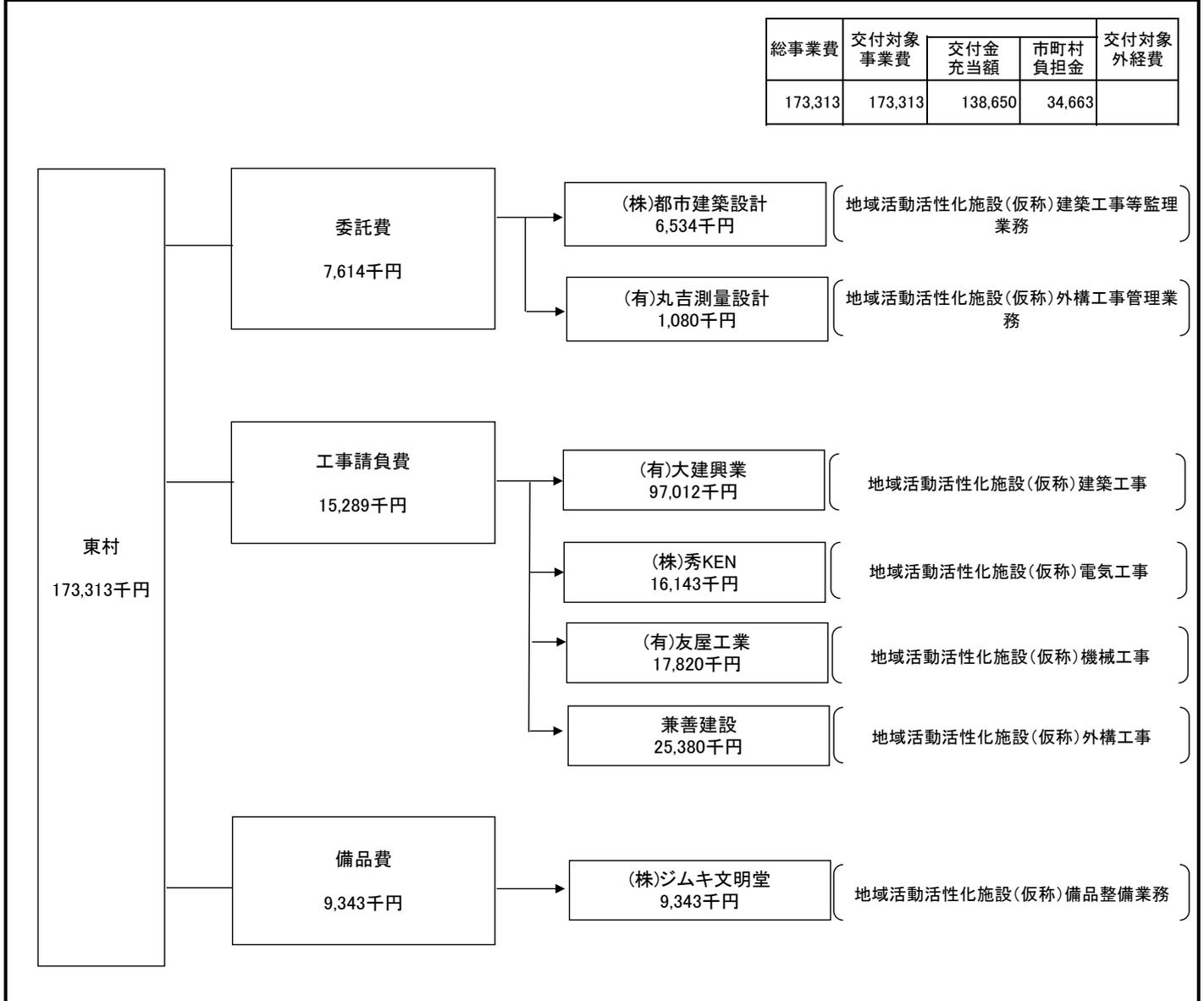


市町村名		東村					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	地域活動拠点活性化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(7)-イ	
担当部課名	総務財政課	事業実施(予定)年度	平成27~29年		沖縄振興基本方針該当箇所	交流と共創による農山漁村の活性化 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	地域活動・地域行事(芸能祭等)伝統文化、芸能の場、交流の場としての利活用が図れる施設を整備することにより、地域活性化また都市との交流が図れる体験・交流活動の場となる拠点施設を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(平成31年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	
		(a)当初予算額	4,600	28,500	166,970	-	
	(b)予算現額	4,536	21,859	175,932	-		
	(c)増減額(b-a)	▲64	▲6,641	8,962	-	0	
	(d)繰越額	-	-	-	77,108		
	A.計(b+d)	4,536	21,859	175,932	77,108	0	
	B.執行済額	4,536	21,859	98,824	74,489		
	うち交付金充当額	3,628	17,487	79,059	59,591		
	次年度繰越額	-	-	77,108	-		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	56.2%	96.6%	#DIV/0!	
予算の状況の説明	建築工事において躯体・型枠工事にいて労務者不足が発生し、その影響により躯体生コン打設の工程見直しにより事業完了が遅延となり、その影響による関係工事において事業完了が困難となり、77,108千円を平成30年度に繰越した。 また、建築工事では杭工事において鋼管杭の回転貫入にあたり支持層の高低による杭長が変更となり、コンクリート工事では当初着コンクリートだったが、コンクリート工事に入る時期が外れ、ユニット及び他工事で舞台下の万能収納車を1台減らし、椅子収納(階段)に変更したため1,267千円減額した。 また、備品整備業務では、縦横の縦開きから横開きに変更したため1,618千円減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	建築及び外構工事の実施	目標	(基本構想・基本計画策定)	(基本・実施設計の実施)	(実施)	( )	
		実績	基本構想・基本計画策定	基本・実施設計の実施	完了		
	目標	( )	( )	( )	( )		
	実績						
達成状況説明	平成27年度に基本構想・基本計画を策定、平成28年度に基本・実施設計を完了し、平成29年度に建築工事、電気工事、機械工事、外構工事、備品整備を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(27年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(31年度)
	地域活動拠点活性化施設の施設整備の完了	目標	( )	(基本・実施設計の完了)	(実施)	( )	( )
		実績		基本・実施設計の完了	完了		
	【参考指標】 地域活動拠点施設の利用者数	目標	( )	( )	( )	( )	(3,296人)
実績							
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動拠点活性化施設の建設については、平成29年度(繰越)、平成30年8月末で整備が完了し、平成30年8月から供用が開始されている。</li> <li>利用者数について、平成30年度途中に整備完了したことから、平成31年度より年間の施設利用者数を3,296人に設定。</li> </ul>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>拠点施設の完成により、地域及び県内外方も施設の利用が可能になったことから、今後この施設において、地域活動、地域行事、交流の場が図れる体制の強化に力を入れる必要がある。</p>	<p>村内事業所と連携をとりながら、各種活動体験等といった拠点施設を活用し、さらなる利用者の増に繋げる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>平成31年度から地域活動や地域行事、都市との交流の場の場をより充実させ、拠点施設を活用した地域活性化に向けて取組を行う。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託及び工事、備品整備の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額は2,619千円、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については完了後に検査を実施しており、目的に即し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	